

第1回政策推進会議報告

日 時 4月5日 9時30分～10時23分

場 所 4-1会議室

出席者 19人

1 尼崎市総合計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

企画財政局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・15番目の社会福祉協議会への加入率のところ、未だ12万世帯とあるが、今後加入世帯が減っていくことを前提としているようであるので、未だという文言は削除してはどうか。

加入世帯は、遞減傾向が続いている。文言は修正してもらってかまわない。

（市長）この計画は社協の加入世帯だけを対象としているのではなく、きちんと市民自治機能を確立して実施していきたい。

- ・この質問者の意図が分かり難いがどうか。

本市は、自治会と社会福祉協議会が一体となっているので、社会福祉協議会の機能が問題であると指摘しているのではないか。市民意見の概要ではあるが、これは全文を掲載しているものと思われ、ここに書いてある表現を汲み取るしかない。

（市長）高齢者見守り活動は、活動範囲を連協単位としており、担い手そのものは社協に限っていない。

- ・30番目のセンタープールの廃止については、意見を参考とするというよりも、その他と区分する方がいいのではないか。

廃止を前提とはしておらず、そのようにしたほうがいいのかもわからない。

（市長）基本構想と基本計画があるが、5年以内に廃止することはなくても、10年となれば廃止の議論が出てくるかもしれない。いずれ直面する課題ではある。現在検討中の総合計画に記載できるか、次期行財政改革計画の見直し項目に入れるのかを検討する必要があるのではないか。

総合計画にセンタープールの項目を掲げることはない。

（市長）今回、ナイター競馬に反対する陳情にもあったように、市民の意見についてどういうレベルで意見を汲み取ればいいのか課題だということを実感した。どこで誰がどのように決めているのかということをも市民に対して説明する必要があると思う。

- ・センタープールの廃止について、現在のところ市は具体的な考え方を持ち合わせていない。今後議論するという意味では、意見を参考とするでも良いのではないか。

今後の検討とすると廃止となってしまう。競艇事業は一定の役割を果たしてきたが、現在、利用者、売上とも低下傾向にある。今後、競艇事業についてどのように打ち出すか検討し、将来のまちづくりの財源として活用するとすべきである。ただ、現在のところ防災機能としては役割を果たせていないが、将来的に付加できるよう検討するとしてはどうか。

（市長）短期的な課題と長期的な課題があり、お互い相容れないと思うので、それぞれに意見を受け止める場所や仕掛けが必要と思う。競艇事業の収益は下がっているものの、一般会計には繰り入れられてはいる。

- ・ 8 番目の回答で住環境としているが、意味が生活環境よりも狭くなっていると思うがどうか。
公害問題を克服し、広く環境という意味では生活環境かもしれないが、この意見は学校や病院など施設に関する指摘なので、広い意味での住環境としている。
単なる生活の場として捉えているのではなく、実生活も含めたものとしてイメージしており、住まいの環境も含めて記載しているつもりである。

2 尼崎市立定時制高等学校再編実施計画(素案)に対するパブリックコメントの結果について

教育長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・ 学校名はどのように決めるのか。
双星高校の時と同様に、学校関係者や公募市民を含めた会議体を設置し、決めようと考えている。
- ・ 城内や工業という名称は使えないのか。
元の学校名は使えるかもしれないが、普通科でもあるので、工業は使えない。
- ・ 1 番目に具体的な意見がないのに多部制の検討を削除したことは評価できるとあるが、どういう意味か。
おそらく学校関係者の意見であると考えられる。
- ・ 想像でしかないが、全く違う人がみたらよく分からないものが多いと思うので、意見の省略方法を工夫したほうが良い。

(市長) これはおそらく全文と思うが、市民の意見を省略することはあるのか。

長いものを省略することはある。

(市長) 当面、定時制高校を統合し、教育内容を充実することを目的としており、次の多部制へのステップにつなげてもらいたい。これから具体的な工事スケジュールなどの市民説明となるが、街路灯を増やすなど生徒の安全について、都市整備局との調整はできているのか。

- ・ 街路灯は、市内に約 2 万 6,000 基設置しており、大阪に比べると明るく、十分設置しているはずである。生徒の安全確保という観点であれば、その付近の街路灯を増やすことは考えられる。

(市長) まず学校耐震化や学習環境の向上に努め、その後には教育内容の充実に努めなければならない。学校関係者からの意見もよく分かるが、そのことにお金を使いすぎて定数や予算が不足するような状況にならないよう、予算も含めて進行管理に十分配慮してもらいたい。

3 その他

企画財政局長から、政策推進会議の変更点について説明。(以下、質疑等)

- ・ 顧問が出席できるように要綱を改正したのであれば、他の本部会議にも影響があるので、要綱を配付してもらいたい。

(市長) 政策推進会議において、情報伝達を早めるため、代理出席を認めているので、各本部会議もそのように対応してもらいたい。

- ・ 市長から、各局の重要課題とその進捗よくについて説明。(以下、質疑等)

(市長) 毎年、政策推進会議で各局の重要課題を報告しているが、今年度は総合計画や次期行財政改革計画に向けて、その進捗よくには特に注意を払わなければならない。そのため、今

回は事前に市長、副市長と情報を共有化し、政策推進会議で報告してもらうこととする。実際の方法としては4月中旬以降に、企画財政局も交えてヒアリングを行い、項目を絞り込んだ上で資料を作成してもらいたい。また、目標管理との連携も考えており、各局のボトムアップやトップダウンの課題について、局長の目標を完成させた後に、部長、課長の目標設定シートを作成してはどうかと考えている。また、難易度の設定も見直しを予定しており、今年度は使い方が変わる。次に、改めて秘書室から発信することになるが、幹部職員のホームページを更新しようと考えており、新年度に臨む抱負や課題を提出してもらうこととする。

・各局から提出されたものはダイレクトにホームページに掲載されることになるのか。

(市長) 提出されたものを精査しようと考えている。掲げる項目としては、私の選挙公約との関連も含め、局ごとに縦割りで考えるのではなく、横断的な調整も必要であり、また、各局長で情報の共有化することも必要と考えているが、数を絞り込まないと、意味がなくなってしまう。こういった性質のものにするか検討中であるが、課題としているが目処が立っていないものや、俎上には上がっているが途中で止まっているものを考えており、5月上旬を締め切りとしたい。

・各局が掲げた事業を進行管理し、具体的に政策化する手立ては企画財政局が行うのか。

(市長) 年度当初に情報を共有化し、夏ごろの次年度向けの政策査定や予算要求について漏れがないか、進行管理が必要と考えている。年度途中においても確認し、気になるものは個別に協議したり、政策調整部会の場合でも検討したい。

以 上